ジャパニーズヘルプデスク (シェムリアップ)
日本語相談窓口

日本人直通窓口
(担当：青砥)

電話 / テレグラム
070 880 112

LINE ID検索
jhd-rah2020

ーシェムリアップでの病院選びー

予想不可能だからこそ
事前の備えが大切です！



シェムリアップの病院について (全体の共通事項)

・観光地であるシェムリアップ市内の病院 / クリニックはほとんど**24時間体制**
　＊医療機関にもよるが、基本的に土日・祝日でも外来診療受診が可能

・救急車は**各医療機関が独自に保有**しているため、必要時には**医療機関へ直接電話**
　＊救急車内の医療機材レベルに差異がある

・医療治療費は自由診療のため、**各医療機関により価格設定は幅広い**
　＊医療費用の設定は「国籍別」や「医療治療費支払い者別」で設定されている

・**特定の重症時**はシェムリアップでの治療は現時点での医療体制では対応不可
　＊首都：**プノンペンの医療機関へ搬送される可能性を想定**すること

外国人が現地病院を受診する上で、確認しておくべきポイント

コミュニケーションの壁

＊自身が理解できる言語話者がいるか？
＊話しやすい医師 - 看護師などがいるか？
＊外国人慣れしている医療機関か？



診療・治療の体制

＊専門医師の在籍有無
＊医療設備のレベル
＊他病院への紹介-搬送先を把握



医療費の相場

＊加入している医療保険の提携病院か？
＊受診をする上でかかる医療費(概要)



病気やケガの受診時に使える医療保険

カンボジア国内で「病気」や「ケガ」の時に使える保険は、現在「4タイプ」が存在します。

カンボジアを含めた諸外国で利用可能

海外旅行傷害保険



メリット

・提携病院でのキャッシュレス受診可能
・損保社毎に24時間対応の日本語窓口有り
・治療時に必要となる日本語通訳も対象可

デメリット

・基礎疾患の治療や妊娠・出産、歯科治療など保険適応外になる条件有り
・補償額を超過するリスク高い (低補償額時)

カンボジアで加入可能

現地 / 外資医療保険



メリット

・提携病院でのキャッシュレス受診可能
・プログラムにより健康診断や予防接種などが対象になるものも有り

デメリット

・問い合わせ窓口は英語 or 現地語のみ
・キャッシュレス受診利用前に、自己負担額分を支払う必要があるプログラム多い

日本の公的保険 (毎月保険料納付者のみ)

海外療養費制度



メリット

・日本で認められている医療治療を受ける場合であれば対象
(基礎疾患がある方も歯科治療なども対象)

デメリット

・現地の病院へは全額医療費の支払いが必要
※ 病院より申請指定書類の取り付け必須
・現地立替金額：100%還付ではない
※日本国内での同治療費用を基準に計算

カンボジアの公的保険

社会保障制度(NSSF)



メリット

・指定病院でのキャッシュレス受診可能
・外国籍の自営業者であっても現地法人手続きが完了していれば加入可能

デメリット

・利用できる病院の選択肢が限られている
・指定外病院を受診しても支払った医療治療費の後日請求はできない

上記の各種保険には、それぞれ「メリット」と「デメリット」が存在します。
【病院を受診する】というのは【非日常】的な事象であり、【予測不可能】な事象です。
だからこそ、不測の事態に備えた時の対応を今一度見つめ直し、カンボジア生活をお過ごし下さい。

シェムリアップ市内の民間病院のご紹介

Angkor Sante Hospital 様 (タヌイ通り)

・常勤医：内科 / 外科 / 小児科 / 婦人科 / 産科 / *整形外科 / 循環器科 / *泌尿器科
　　消化器科
・非常勤：耳鼻咽喉科 / 皮膚科 / 脳神経外科
・検査：X線 / 超音波 / 心エコー / 内視鏡 / CT



・入院設備あり (個室)

・外科処置が必要になる案件ではマルチに
　対応可能(医療器材設備あり)

・血液透析センター完備あり(24時間対応)

・民間医療保険の提携病院

Neak Tep Hospital 様 (7マカラ通り)

・常勤医：内科 / 外科 / 小児科 / 婦人科 / 産科 / 耳鼻咽喉科
・非常勤：整形外科 / *泌尿器科 / *消化器科 / 循環器科 / 理学療法科
・検査：X線 / 超音波 / 心エコー / 内視鏡



・入院設備あり (全室個室)
・民間医療保険の提携有(現地医療保険)
・在住外国人受診もあるため英語対応可能



Siem Reap Medicare Clinic 様 (アンコール国立博物館近く)

・常勤医：総合診療/ 一般内科 / 小児科
・設備：X線 / 入院設備あり(個室) / 治療室 / 病理検査室完備



・規模は小さいが内科的治療対応可能

・在籍医師は日本人受診者の対応経験が豊富なため外国人慣れしている(英語対応可)

・外科はケガの程度により受け入れ不可(整形外科は不可)

NSSF利用で受診できる民間病院

・Khemarak Angkor Polyclinic 2 (ワットボー通り)
・Phsa Krom Polyclinic (クラオム市場エリア)

＊シェムリアップでは現状上記2医療機関のみ

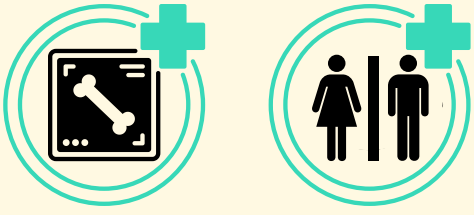
外国籍の個人自営業の方でも登録可
・カンボジア現地法人設立手続きを完了している場合のみ

*商業省-経済財政省-労働省など然るべき省庁などの手続きが完了している

シェムリアップでは各専門医師の大半は、「シェムリアップ州立病院」と「民間病院非常勤医」として掛け持ちされている医師です。また医師の中には個人開業医として自宅での診察をされている方もいらっしゃるため、希望する専門医師の診察を受けるにも時間を要するのが現状です。

州立病院＋民間病院のかけもちが多い

整形外科医　泌尿器科医



民間病院の常勤在籍ゼロ

脳神経外科医



かけもち勤務＋個人開業 or 個人開業として対応している診療科

眼科医　耳鼻咽喉科医　消化器内科医　*理学療法

